

大正十年八月

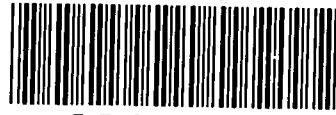
情報彙纂 第七

朝鮮ニ關スル外國人ノ評論

朝鮮情報委員會

種

국회도서관



00105479

第四

世界

第三

「ビ」

ビ

朝鮮

상 구 320.951
번 호 5382

등록
번호 105479

서자명

朝鮮情報委員會

서명

情報彙纂 第一~

소속

이

품

출일

반납
비율

반납

105479

三

六

九

一

頁

朝鮮ニ關スル外國人ノ評論 (情報彙纂 第七)

第一 朝鮮問題ノ感想

一九二一年七月 金澤ニテ ビー・エー・スミス

筆者ハ本年夏前學習院長北條博士ト共ニ渡來シテ朝鮮ヲ視察シタル米國宣教師ナリ

本文ハ最近二週間ヲ朝鮮デ過シタ記者ガ、同地滯留中ニ受ケタ鮮カナ印象ト、記者ノ感情ニ強ク訴ヘタモノトヲ、フト記録スル氣ニナリテ、記者ノ旅行ニ色々愉快ト便益トヲ與ヘテ吳レタ新舊友人ノ二三ニ、通信シタモノデアアル。本文ヲ起草スルニ就テハ、記者ハ他人ノ行爲ヲ是非スル審判者ノ如ク見ラルル事ヲ欲シナイ、ノミナラズ、半島開發ニ就キ、總督府ノ政策ニ對シ、不條理ナ批評ヲ下ス考ヘハ毫モナイノデアアル。此處ニ記スル事柄ハ、單ニ普通人トシテノ感想ヲ記シタマデアツテ、記者ハ、元來日本ヲ第二ノ故郷ト思ヒ、其生國ト、自國民トニ次イデ、日本ノ國及其ノ國民ヲ愛スル者ナノデアアル。

先ヅ朝鮮ニ上陸シタ者ノ、注意ヲ引ク最モ著シイ事ハ、日本ノ指導ノ下ニ成サレタル、驚クベキ物質上ノ發達デアアル。舊時代ノ治者ノ下ニ在タ人民ノ事情ガ、如何ナルモノデ有ツタカヲ考ヘタナラバ、直チニ、現

今ノ發展ハ、日本ノ助力ガナカツタナラバ、決シテ、現出シナカツタデアロウト想像シナイモノハ無カ
ウ。此ノ驚クベキ事功ハ、朝鮮ノ都會ヤ、村落ヲ通過シテ見サヘスルナラバ、直グ分カルノデア
ル。

是等ノ新ラキ物質的進歩ヨリ、生活シテ居ル者ガ、多イノハ
勿論實際デ骨ルガ、此等ノ人々ラ、直接的ナ中心地ノ人々ガ、直接利益ヲ受ケテキル、ヨリ廣キ街路
ヤ、ヨリ良キ路ヤ、郵便制度ヤ、鐵道ヲツテ、間接ニ惠澤ヲ被ムツテキルデアアル。

尙、生命及財産ハ、彼等カラ奪ヒ去ラルル危険
モナキ奪掠ハ、彼等カラ奪ヒ去ラルル危険
ハ決シテ無イ。學校ハ財政ノ許ス限り、速カニ増設サレテ居ル、而シテ少年男女ハ
熱心ニ就學シツツア、速カニソウスル筈ナノ
デアアル。

朝鮮ニ與ヘタ併合ノ利益ハ、此ノ上舉ゲテ言フ迄モナイノデ有ルノニ、何故、アンナニ多クノ不平ガ有ル
ノカ、何ヲモツト欲スルノカト、質問シタクナル、其レハ不平ガ有ルカラアルノデアアル。
而シテ、記者ハ今次ノ半島視察ニヨツテ、其ノ原因ガ、奈邊ニアルカヲ知ラントシタ。次ニ掲ゲルモノハ
今後解決ヲ要スル當面ノ問題ハ如何ナルモノデアアルカニ付キテノ、記者ノ考ヘノ概略ト、之カ解決ニ必要ト

思フ極僅カナ建言トデアル。

産 業

先ツ第一ニ、注意スベキ問題ハ、産業ノ状態デアル。市中ニ多數ノ懶惰者アル事、或労働ニ勵ムベキ筈ノ階級ニ屬スル者デモ、兎角仕事ヲ欲セナイ傾向ノ明白ナル事ハ、此ノ一事ダケデモ、極メラ重大ナ問題デアル。之ニ對シ何等カノ獎勵法デモ講ジナカツタナラ、朝鮮内ニ於テ、平和ト繁榮トヲ見ル事ハアルマイ。

記者ハ、産業ノ問題ニ關シテハ、素人デアルカラ、或一事ノ外、今茲ニ、建策ヲ提供スル事ハ出來ナイ。其レハ米國ノ或ル大學ニ依ツテ、取ラレテ居ル様ナ方法デ、大學教授ノ科學的智識ヲ、労働者問題ニ應用シ斯克テ労働者ノ利益ト彼ノ能率トヲ、増サントスル努力デアアル。此ノ米國ノ方法ハ、直ニ朝鮮ニ適用スルコトハ出來ナイケレドモ、多少ノ參考ニハナルカモ知レナイ。

勿論、工業専門學校其ノ他ノ實業學校デハ、出來ルダケノ事ハ、シテ居ルノデアアルガ、併シ之ニ就キ學校ノ接觸スルノハ僅カノ小範圍ニ止スルノミナラズ、其ノ接觸スル人々モ、堅忍不拔ノ精神ヲ缺グ爲、能率ノ教養ガ著シキ高度ニハ達シテ居ナイノデアアル。

加之、是等ノ學校ハ、土着労働者ノ不用意デ其ノ日暮ラシナ性質ニ關スル根本問題ニハ、眞ニ觸レテキナイノデアアル。

併シナガラ、眞ニ此ノ問題ヲ解決セントスルナラバ、何等カノ方法ヲ講ジナケレバナラヌノデアアル。

商業

商業界ハソレヨリモ有望デ有ル。商業學校ハ民間ノ受ケガ好ク、其ノ卒業者モ、亦相當ノ地位ヲ占メテ居ル。併シ、更ニ進ミテ、朝鮮人ニ、モツト積極的ニ獨立シタ業務ヲ擔當スル能力ヲ發揮セシムル、何等カノ方法ヲ講ジナケレバナラス。彼等ノ多數ハ經驗ノ缺乏ト、此ノ經驗ノ不足ガ、日本人實業家トノ競争ニ不利ヲ與ヘル事實トニ因リ、意氣ヲ沮喪シテ居ル様ニ見エル。此ノ感情ノ當否、並其レヲ救治スルニハ如何ニシテ良イカト言フ事ニ就テハ、記者ハ、何等容喙シナイ。只記者ノ見ル所デハ、是亦解決ヲ待ツ一問題デアルト云フ事ヲ一言スル。

教育ト宗教

教育及宗教ノ問題ニ轉ズレバ、少シハ慣レタ立場ニ在ルノデアツテ、記者モ多少言葉ヲ費ヤス權利ガ有ル様ナ氣ガスル。縱令記者ハ此ノ點ニ於テモ未熟者デアリ、且二週間ノ短時日デハ當面ノ複雑ナルアラユル真相ヲ完全ニ、理解スルコトハ出來ナイコトヲ承知シテ居ルトハ言へ。

言語

記者ノ前ニ來ル教育的ノ問題ハ、先ヅ言語ノ問題デアル。是ハ單ニ教授上ニ、日本語ヲ用ウル程度ノ問題ニ過ギナイノデアル。記者ガ此ノ問題ニ就キ澤山ノ人ト、話シタ後チノ個人的感想ヲ言フナラバ、此ノ事ハ、餘リ性急ニ強ウベキモノデナイト言フ事デ有ル。後日、鮮人が日本語ヲ知ルノ價值ヲ認メタ時ニハ、彼

等○カ○ラ○日○本○語○ノ○教○授○ヲ○受○ケ○ル○事○ヲ○迫○ル○ニ○至○リ、此○ノ○問○題○モ○自○然○消○滅○シ○テ○問○題○ト○ナ○ラ○ヌ○様○ニ○ナ○ル○デ○ア○ロ○ウ○。
愛○國○心○ト○忠○義

之○ニ○多○少○關○聯○セ○ル○他○ノ○問○題○ハ、愛○國○心○ト○忠○義○ト○ノ○教○育○デ○ア○ル○。是○等○ノ○美○德○ニ○就○テ○ハ、普○通○ノ○朝○鮮○人○ハ、內○地○人○ノ○強○烈○ナ○ル○感○情○ニ○比○較○ス○レ○バ、極○メ○テ○微○弱○ナ○觀○念○ヲ○有○ス○ル○ニ○過○ギ○ナ○イ○ノ○デ○ア○ル○。

故○ニ○豫○期○ノ○結○果○ヲ○得○ン○ト○ス○ル○ニ○ハ、手○練○ト○忍○耐○ト、時○日○ト○ガ○必○要○デ○ア○ル○。而○シ○テ○之○ガ○教○授○者○タ○ル○モ○ハ、是○等○美○德○ノ○何○レ○カ○一○方○ニ○テ○モ、美○事○ニ○教○授○シ○得○ル○前○ニ、先○ヅ○生○徒○及○其○ノ○父○兄○ノ○充○分○ナ○ル○信○任○ヲ○得、更○ニ○進○ミ○テ○其○ノ○愛○情○ヲ○モ○得○置○カ○ネ○バ○ナ○ラ○ヌ○ノ○デ○ア○ル○。否○ラ○サ○レ○バ、是○等○ノ○教○授○ハ、實○ニ○無○益○デ○ア○ル○ノ○ミ○ナ○ラ○ズ、又○有○害○デ○有○ル○ノ○デ○ア○ル○。

然○レ○ト○モ、此○ノ○問○題○ハ、斯○ノ○如○ク○單○純○ナ○モ○ノ○デ○ハ○ナ○イ○。即○チ、法○律○ノ○代○表○者○タ○ル○警○察○ノ○事○ヲ○モ、考○慮○ニ○入○レ○ナ○ケ○レ○バ○ナ○ラ○ナ○イ○ノ○デ○ア○ル○。吾○人○ハ○自○己○ノ○職○務○ヲ○全○ウ○セ○ム○ト○努○力○ス○ル○巡○査○ニ○對○シ、十○分○ナ○同○情○ヲ○表○セ○ネ○バ、ナ○ラ○ヌ○コ○ト○ハ、勿○論○デ○ア○ル○。

何○ト○ナ○レ○バ、彼○等○ハ、最○モ○困○難○ナ○職○務○ヲ○遂○行○セ○ム○ト○努○メ○テ○居○ル○ノ○デ○ア○ル○カ○ラ○デ○ア○ル○。彼○等○ハ、異○郷○ニ○於○テ○不○安○ニ○シ○テ○好○意○ナ○キ○人○々○ノ○間○ニ○働○キ、且○又○受○持○區○域○ニ○於○ケ○ル○秩○序○維○持○ノ○責○任○ヲ○負○フ○テ○居○ル○ノ○デ○ア○ル○。是○等○ノ○事○柄○ハ○總○ベ○テ、事○態○ヲ○非○常○ニ○困○難○ナ○ラ○シ○ム○ル○ノ○モ○ノ○デ○ア○ツ○テ、彼○等○ニ○對○ス○ル○吾○人○ノ○批○判○ハ○苛○酷○ニ○過○ギ○テ○ハ○ナ○ラ○ヌ○。然○レ○ト、吾○人○ハ○之○ガ○爲○ニ、彼○等○ガ○人○民○ニ○對○シ、往○々○權○力○ヲ○濫○用○シ○テ、專○橫○壓○制○ニ○流○ル○ル○コ○ト○ア○ル○事○實

ヲ○默○過○シ○テ○ハ○ナ○ラ○ヌ○。吾人ハ、之ヲ詳説スル迄モナク、斯様ノ話ハ、非常ニ數多ク且細密ニ涉リ、又否認ヲ許サナイ事柄デアルト云フコトヲ、茲ニ明言シ得ルノデアアル。答刑ハ廢止サレタレドモ、種々ノ拷問ハ、引續キ逮捕者審問ノ際ニ用キラレ、婦人スラ今尙時トシテ、侮辱ヲ加ヘラルルコトガアル、其ノ結果、人ガ嫌疑ノ爲ニ逮捕セラレ、審問中自白ヲ強ウル爲拷問ヲ加ヘラレ、最後ニ、犯罪者ニ非ラズトシテ、放免セラルルガ如キ事ハ、屢起コル例デアアル。斯カル人ガ警察ノ手カラ、離レテ來タ時ニハ、不正ノ處置ヲ受ケタリトノ感情ヲ懷キ、彼ノ親戚及友人モ亦之ニ同感スルノデアアル。

然ルニ是等ノ所行ヲ爲スノハ、皆警察デアツテ而シテ警察ハ都鄙ニ於テ天皇ヲ代理スルモノデアアル。然ルニ、斯ル事件ノアツタ後ニ、教師ガ其ノ生徒ニ向ツテ、陛下ノ仁慈ヲ説キ示シタナラバ、生徒ハ、如何ナル感ジヲ持ツテアロウカ。此ノ時ニ當リ、彼等ガ、行爲ハ言語ヨリモ雄辯デアリ。斯カル教訓ノ空談ニ過ギナイコトヲ感スルノハ、人情ノ自然ニ出ヅルモノニ外ナラナイノデアアル。若シ、斯カル事柄ガ屢起ツタナラバ、其ノ教訓ハ却ツテ、教員ノ豫期スル所ト正反對ノ結果ヲ見ルデ有ロウ、

歴 史

歴史ヲ教ヘルニ當ツテモ、眞實ヲ話シ、而モ慎重ニ、且公正ニ説カナケレバナラヌ。内地朝鮮間ノ史的關係ノ如キモ、慎重且公平ニ説明スベキデアアル。縱令日本ニ誤リガ有ル場合ニテモ、其レヲ辯解粉飾シヨウトスル心持ガアツテハナラヌ、斯ノ如キ事項ハ、總テ容易ナラヌ問題ヲ引き起シ易キガ故ニ、公明正大、且虚心

坦懷ナル態度ヲ以テ、之ニ當ルベキモノデアアル。英米兩國間ノ、緊張シタル關係ノ如キモ、百餘年來、米國獨立戰爭ヨリ起レル諸種ノ問題ニ就キ、一方側ニ偏シタル見解ノミヲ教科書ニ擧ゲテ、米國內ニ使用シ來ルルコトニ、幾分其ノ原因ヲ有シテ居ルノデアアル。故ニ吾人ハ、日本ガ、斯クノ如キ錯誤ヲ發見スルニ百餘年ヲ要スルカ如キコト無キヲ希望スルノデアアル。

教員ノ供給

教育上ノ他ノ問題ハ、如何ニシテ十分ナル教員ノ供給ヲ得ベキカト云フ事デ有ル。京城師範學校ハ、教員ノ養成ニ、最善ノ力ヲ盡クシテ居ルガ、恐ラク、夫レダケデハ充分デハ有ルマイ。

政府ノ規定ニ遵ツテ成レル所ノ私立學校ニ對シテハ、有ラユル獎勵ヲ加ヘ、且此等ノ學校ガ、師範教育以外ノ方法ニ依リテ、養成セラレタル資格アル教員ヲ得ムトスルニ對シテモ、出來ルダケノ補助ヲ與ヘネバナラナイ。

此ノ困難ヲ更ニ加重スル今一ツノ事ハ、彼等男女ノ教員ガ、別ニ證據ガ有ルノデモナクシテ、單ニ、警察ニ拘留サレタト言フ丈ケデ、教員タル許可ヲ與ヘナイ十分ナ理由トスル事實デ有ル。教員ガ實際罪ヲ犯シタ爲ニ、其ノ許可ヲ與ヘナイト言フ法律ハ、政略上、或ハ他ノ方法トシテ、當リ前ノ事デ、誰モ疑ハナイ。併シ彼等男女教員ガ、拘留サレタト云フ事丈ケノ爲ニ、其ノ許可ヲ拒絕スルナラバ、其レハ不正當ノ事デアアル。若シモ此ノ拒絕ノ原因ガ單ニ嫌疑ノ爲トスルナラバ、ソレハ偉大ナル政府ノ價值ナキモノデアアル。此處ニ如

何ナル犯罪カ不行跡カ有ツテ、何カノ理由デ、不問ニ附シテハアツテモ、其ノ教員タルコトヲ禁ズルニハ十分デアルト認メラルル場合ニ在リテモ、其ノ當事者ニ對シテハ、罪ト過失トヲ、慎重ニ説明シテヤラネバナラス。

此ノ法規ト其ノ適用トハ、嘗ニ現在ノ教育者間ノミナラズ、尙今後教育者タラントスル者ノ爲ニモ、困難ヲ醸モスモノデアル。茲ニ學生ガ相當教育ヲ受ケ、特ニ教員ノ免狀ヲ請求セントスル時ニ當リ、會警察ニ召喚サレ、數日間留置サレテ後チ放免サレタ事ガアル。此ノ事柄其ノモノハ餘議ナキ事デ有ロウガ、何等犯罪ノ證據ナキ場合、單ニ留置サレタ丈ノ理由ノ下ニ、免狀ノ交附ヲ拒絕サレタガ爲ニ、此ノ學生ノ前途ヲ誤ラシメルト云フ事ハ、明白ナル不正デ有ル。殊ニ朝鮮内ニ於ケル如ク萬事ニ人民ノ自奮向上ヲ獎勵セナケレバナラヌ社會状態ノ下ニ在リテハ、斯カル規定ハ計ルベカラザル害ヲ來タスモノデアル、要スルニ、斯ル規定ハ當該地方ノ教育事業ヲ其ノ當局者ノ管理ノ下ニ置カズシテ、却テ警察ノ支配ノ下ニ置クモノデアル。

斯カル不公平ナ處置ガ有ツタノハ、總督府ノ意思デ無イト云フ事デアアル。併シ斯ノ如キ否認ハ、此ノ種ノ事件ガ餘リニ多ク現存シテ法規ノ精神此ニ存スルコトヲ示シテ居ルカラ駄目デアアル。特ニ基督教學校ノ場合ニ在リテハ、其ノ教員ハ捕縛サレテ、數日間拘留セラレ、而シテ後チニ何等ノ告發モナクシテ放免セラレ。或時ハ何等ノ取調べモナク、釋放サレタ者ガアル。然ルニ彼等ハ教授ノ繼續ヲ許可セラレズ。其ノ理由トシテハ、拘留ノ爲ト云フノ外、何等ノ説明モ與ヘラレナカツタノデアアル。

官立學校

之ニ關聯セル更ニ他ノ問題ハ、官立學校デサヘモ。警察官憲カラ不斷ノ監視ヲ受ケテ居ル事デアアル。警察カラ間斷ナキ監視ヲ受ケル爲、學生ノ信用ヲ得ル事が、非常ニ困難デ有ルトハ、或ル官立學校ノ校長ノ報告デアアル。此ハ校長ガ警察ノ間斷ナキ監視ヲ幫助シツツアルガ如クニ生徒達ガ感ズル爲デアアル。又或校長ハ若シ生徒間ニ不穩ノ形勢アルトキハ、屹度之ヲ報告スルカラト警察ニ證言シテ、監視ヲ止メムト試ミタルモノモアリシガ、併シ其レハ無効デアツタ。斯ノ如キ猜疑ノ氣分ハ、真正ノ教育ニ最モ必要ナル師弟間ノ情誼ノ増進ヲ妨害スルモノデアアル。

英語教師

茲ニ、朝鮮人ノ爲ニ向上ノ道ヲ開イテ彼等ヲ獎勵スル一ツノ方法ヲ記者ハ思ヒ付イタ。其レハ朝鮮人ヲ英語教師トシテ使用スル事デ有ル。彼等ニハ語學ノ天才ガ有ルカラ、特ニ訓練スレバ、善良ナル語學ノ教師ト爲ス事が出來ル。斯クノ如ク朝鮮人ニ好機會ヲ與へ、少ナクトモ、彼等ニモツト奮發心ヲ振起セシムル様ニ援助シタナラバ、茲ニ於テ、何等疑ヒモナク、充分ナル好果ヲ收メ得ルデアロウ。

教育費ノ財源

尙進ミテ教育問題ヲ説クナラバ、其レハ財源ニ就テアル。朝鮮ハ貧弱ナル國デ有ル。而シテ將來尙數年間ソウデアロウ。故ニ、朝鮮ニ於テハ、富裕ナル日本人ヲ勸誘シテ學校ヲ建テサセル様ニ努力セネバナラヌ。

此ハ單ニ教育設備ノ缺乏ヲ補フト云フ意味バカリデ無ク、尙朝鮮ノ同胞ノ爲ニ日本人ノ好意ヲ表スルモノデアル。善隣商業學校ハ、斯カル方面ニ於テナサレタル好例デ有ル。

東京留學生

最後ノ教育問題ハ、東京カラ朝鮮ノ家庭ニ歸ヘリ來ル留學生ノ事デアアル。彼等デモ、種々ナ宗教(基督教)學校カラ内地ニ留學サシタ者ハ、常ニ良ク世話ヲサレ、面倒ヲ引キ起コスコトハ餘リナイ。併シ朝鮮内ニ在住スル内地人教育者ハ、東京カラ歸ヘツテ來ル大部分ノ留學生ガ、排日感情ヲ懷イテ來ルト言ツテ居ル。是等教育者ハ、又、此ノ事ハ、朝鮮人ガ内地人、特ニ警察カラ受クル待遇ニ負フ所ガ多イト言ツテ居ル。是ハ記者ガ二週間ノ調査中ニ聞イタ中デ、日本ニ關スル最モ恐ルベキ告白デアアル。内地ノ地方ニ於ケル色々ノ矛盾シタ事柄ハ、皆、知ラズニヤツタトカ、何トカ辨解モ出來ル。又朝鮮ニ小面倒ナ制限ノ多イノニモ理由ハ有ロウ。併シ彼等ガ、日本ノ中心タル東京カラ歸ツテ來タノニ、日本ニ對シ愛ノ念ハナク憎惡ノ感ヲ懷イテ居ルト云フ事ニ就キテハ、吾人ハ何ト云フテヨイデアロウカ。勿論、是ハ大問題ノ唯一面ニ過ギナイガ、併シ總督府ガ、切ニ注意ヲ要スルモノデ有ル。

宣教師ト官憲

今翻ツテ宗教ニ直接關係アル問題ヲ顧ルニ、本問題ハ、全部若クハ殆ト全部、基督教宣教師及基督教會ノ事業ニ關係シテ居ル様デアアル。記者ノ概念ニテハ、是等ノ問題ハ誤解カラ起ツテキルノガ多イ様ニ思ハレル。

果シテ然リトセバ、能ク英語ヲ話シ得ル者カ、海外ノ教育ヲ受ケタ者カ、デナケレバ、少ナクトモ洋行シタ
モノデ、且基督教信者デアル者ヲ選擇シ、之ヲ各道廳ニ置イタナラバ、數多キ面倒ナコトモ、能ク回避シ得
ルデアロウ。彼ハ、適任デアレバ、地方廳ノドンナ職務ニ就イテモ良イ。併シ其ノ本職ノ外ニ、鮮人及外人
ノ教役者ト官吏トノ間ノ軋轢ノ原因トナル事柄ノ調停ニ助力サセラレルノデアアル。彼ハ何故基督教信者ガ良
イカト云ヘバ、其レハ宣教師ノ立場ヲ、ヨリヨク了解シ得ルカラデアアル。或ル地方廳ノ官吏ハ、記者ニ向ッ
テ、基督教ヲ一般官吏ニ了解サセル事ハ大ナル困難デアルト言ツタ。

往時ハ放任ニ過ギタ

宗教々育、特ニ基督教々育ノ爲ニ、屢紛糾スル今一ツノ問題ハ、朝鮮人ガ、特ニ北部ニ於テ、是迄眞ニ統
治サレテ居タ事ガナイト云フ事實デアアル。彼等ハ過去ニ於テ餘リ放任セラレ過ギタ爲、彼等ヲ平穩ナ人民ト
爲スコトハ、容易ナラザル業デ有ルト、數人ノ宣教師ハ記者ニ話シタ。然ルニ今ヤ是等ノ仕事ハ、基督教ガ
個人ノ權利ト自尊心トヲ教ヘタガ爲ニ、時ニハ、非常ニ易クナリ又時ニハ、非常ニ困難ニナルコトガ有ル。

是等ノ教理ガ、人心ニ植ヘ附ケラレルト、自然法律ニ遵フコトヲ否ム傾向ヲ生ジ、屢面倒ナ事ヲ引き起コス
モノデアアル。併シ、若シ法律及其ノ法律ヲ執行スル者ガ、眞ニ公正デ有リ、又其ノ人ニ手練ガアリ、且同情
心ガ有ルナラバ、是等ノ特徴ハ、帝國ニ相當ナ位置ヲ占ムルニ足ル剛強ナル國民ヲ作り上グルニ無限ノ幫助
トナルノデアアル。記者ノ考ヘデハ、彼等人民ヲ親切ト正義トヲ以テ待遇シタナラバ、不穩ト動亂ノ北部地方

ハ、南方住民ノ平穩ナル性質ヨリモ、寧ロ多ク、將來ニ望ミヲ囑スベキモノデアルト思フ。

學校ト宗教

最後ノ宗教問題トシテ論ズベキハ、學校ニ於ケル宗教ノ問題デ有ルガ、是ハ朝鮮ノミデナク、内地ニモ關係スルコトデアル。現今ノ法制デハ、政府ハ、宗教ニ關シテ、眞ニ中立デハナク、實ハ、反宗教的デ有ル。即チ、今假リニ二ツノ學校ガ、何レモ同様ニ能ク資格ノ揃ツタ者ヲ教員トシ、且同様ナル設備ヲ整へ、政府ニ其ノ認可ヲ申請スルトシタラバ、双方共ニ政府ノ規定ニ適ツタモノデ有ツテモ、若シ一方ノ學校ガ、通常學課ノ外ニ、宗教ヲ教授シ、他ノ一方ガ、之ヲ教授シナイモノデアレバ、後者ハ、認可ヲ得ルガ、前者ハ認可セラレナイ。言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、法律ハ、學校デ宗教ヲ教ヘル事ヲ懲罰シテ居ル。内地及朝鮮ノ双方共、此ノ法律ハ實際餘リ困難ナ結果ヲ生ジナイ様ナ風ニ適用サレテハ居ルガ、適當ナ設備ヲ整へ、十分ナ教員ヲ配置シテ居レバ、タトヘ他ノ學科ノ外ニ宗教ヲ加ヘテ居テモ、認可ヲ受ケラルル様ナ方法ヲ講ジナケレバナラス。

公開主義

扱テ今少シ一般的ノ問題ニ向ヘバ、公開主義ノ事デアアルガ、是ハ最モ誠實ナモノデナケレバナラスト感ジタ。記者ハ、或新聞記者カラ、非常ニ不愉快ナ事實ガアルノヲ知ツテ居ツテモ、時トシテ、政府ノ命令ニ依リ、文筆上デハ、ソレヲ打チ消サネバナラヌコトガアルト言フ事ヲ何度モ聞カサレタ。斯クノ如キ言明ハ、如何ナル排日宣傳ヨリモ、大ナル損害ヲ政府ニ與ヘルモノデアアル。其レハ、政府ノ爲ス聲明ノ信用ヲ薄カラ

シムルモノデアツテ、政府ガ眞實ヲ聲明シタ場合ニモ、矢張り其レヲ信用スル事ヲ出来ナクスルカラデ有ル。眞ニ公明ナ開放主義ヲ取ルコトノミガ、政府ノ安全策デアアル。過誤ヲ蔽ヒ隠ス事ハ、種々ノ誤解ヤ、惡聲ヲ深クスルノミデアアル。

公 娼

他ノ重要問題ハ、時世ノ心理デアアル。記者ニハ、日本ノ當局者ガ、他人ノ見地ヲ誤解シテ居ル爲ニ、必要ナ衝突ヲ醸シタ場合ガ有ル様ニ見ヘル。此種ノ第一例トシテハ公娼ノ問題ガ有ル。日本ハ、記者ノ知ツテ居ル所デハ、今尙公娼制度ニ執着シテ居ル、唯一ノ文明國デアアル。而シテ、今日日本ニ於テ行ハレテ居ル所デハ、ソレハ純然タル奴隸制度デアツテ、獸類デナケレバ、出来ナイト云フ意味合カラ、笞刑柱ニ縛シテ笞打スベキモノトセラルル所業、即チ、泰西ニ於テ『白奴』ト稱スル制度ト同様ナモノデアアル。尙釜山ニ於テハ貸座敷營業者ノ一人ガ同所ノ學校委員トシテ選舉サレタト云フコトデアアル。斯ノ如キ制度ノ認容ハ、内地ニ於テサヘ、惡ルイ事デ有ルノニ、朝鮮マデ、其レヲ輸入スレバ一層惡結果ヲ來タス事ハ明デアアル。

ソレハ、第一、朝鮮人ニ内地人ヲ蔑視セシムルモノデアアル。勿論彼等朝鮮人モ以前カラ妓樓ヲ有シテ居タケレドモ、日本ノ如ク斯ル罪惡ヲ公認スル大仕掛ケノ制度ハナカツタ。女モ、現今ノ如ク、法律保護ノ下ニ、家畜同様ニ、賣買サレテハ居ナカツタ。

其ノ上、斯カル制度ノ默認ハ、女性ノ價值ヲ蔑視スル様ニナル。又此ノ制度ヲ默過スル人ハ、斯ル制度ノ

下ニ行ハルル總テノ取引ガ、自己ノ母ヲ侮辱スルモノデアルト云フコトヲ全ク忘却シテ居ルノデアアル。何故ナラバ、母モ女デアリ、又妓樓ニ於テ牛馬ノ如ク賣買セラレ、脂粉ヲ塗リテ、男子ノ情慾ノ奴隷トナルモノモ、女デアアルカラデアアル。斯カル觀念ハ、相當教育有ル者、又ハ、地位アル人ニハ、餘リ現ハレテ居ナイガ、巡查ガ獄内ノ女囚ヲ取扱フ上ニハ現ハレテ居ル。是等總ベテヲ否認スルニハ、狀況ノ報告ガ餘リニ多過ギル。立派ナ婦人モ拷問、苦痛及侮辱ヲ受ケテ居ル。斯クノ如キ事柄ハ今デモナイ事ハナイ。

上流社會ニ於テハ、是等ノ事ハ、其ノ心中ニ、深くキザミ込マレル所ノ、憤怒ト輕蔑トヲ以テ見テ居ル。年取ツタ朝鮮人ノ言ニ、コウ云ツテ居ル『我々ハ殆ンド何事モ忍耐シナイモノハナイガ、若シモ我々ノ女ニ手ヲ觸レタナラバ……』。後トノ沈黙ハ總ベテノ言葉以上ニ雄辯デアツタ。人ノ賣買ヲ承認スル唯一ノ文明國トシテ世界ニ知ラルルノハ、日本ノ名ヲ傷フ事ニナリ、又朝鮮ニ於テ困難ト不信用ト、不必要ナ侮蔑トヲ生ズルモノデアアル。

宣教師ノ目的

茲ニ又外國宣教師ハ、政治ノ代理者デモナク、又政治上ノ宣傳ニ従事スルモノデモナイト云フコトニ就キ、明白ナル理解ヲ爲スノ必要ガ有ル。或ル方面ノ人々ニ、此ノ理解ガ缺ケテ居ルト云フコトハ、次ニ記ス様ナ出來事ヲ見レバ分カル。

記者ノ友人ノ内地人ガ、或時、總督府ノ官吏ト、汽車ニ乘リ合ハシタ。偶、談話ガ外國宣教師ノ行爲ト態

度ノ上ニ及ンダ時、記者ノ友人ガ、基督教信者ノ立場ヲ説明シ、彼等男女宣教師ノ渡鮮ニハ全ク利己的理由ナキコトヲ示シタルニ、其ノ官吏ハ、之ヲ傾聽シタ後チニ、『男女宣教師ガ、ソノナ意志デ朝鮮ニ來テ居ルト、言フ様ナ馬鹿ヲシイ事ハ、信スル事ガ出來ナイ。人間ハ天性ハ、ソノナモハデハナイ。彼等ハ確カニ政治上ハ代理者トシテ來テ居ルデアロウ』ト言ツタト云フコトデアル。

其ノ官吏ハ此ノ言葉ニ依リ、單ニ彼ガ數十年モ時勢ニ後レテ居ル事ヲ現ハシタ迄デアル。今ハ斯様ナ考ヘヲ持ツテ居ル人ハ多クナイノヲ望ムノデアアルガ、併シ記者ハ此度ノ朝鮮旅行ニテ、コンナ誤解ヲ持ツテ居ル者ガ少クナイ證據ヲ得タ。

而シテ、彼等宣教師ガ、若シ希望スルナラバ、殆ド例外ナク、誰デモ、其ノ本國ニ在リテ、一層安樂且愉快ニ生活シ得ラレナイモノハナイノハ、事實デアアル。彼等ガ朝鮮ニ來タノハ、單ニ基督教ノ信仰ガアル爲デ、其レニ依リテ人々ニ幸福ヲ與ヘ、人々ヲモツト向上セシメントスルニ外ナラナイノデアアル。彼等ノ善良トカ幸福トカ云フ觀念ハ、或未信者ノ眼カラ見レバ、違イモアルデアロウガ、併シナガラ、少ナクトモ彼等ノ誠實ニシテ利己心ナキ目的ニ對シテハ、信用シナクテハナラヌ。

尙又彼等ハ政治上ノ關係モ名譽心モ絕對ニナイ。記者ハ現ニ、彼等ガ眞ニ利己心ナク、人民ノ向上ニ努力スベク、總督府ト、一致協力スルノ意志有ル事ヲ知ツタノデアアル。彼等モ時トシテハ、官吏ノ努力ヲ認メルコトガ、實際出來ズ、又ハ出來ナイ様ニ見テ事モ有ツタニ相違ナク、且時ニハ官吏ノ立場ヲ理解セナイ事

ガ有ルカモ知レヌ。彼等モ人間デ有ルカラ間違イモアル。併シ彼等ノ動機ヲ疑フノ時ハ、既ニ過ギ去ツタ。彼等ハ朝鮮人ノ爲ニ、自己ト生命トヲ與ヘツツ有ル。而シテ若シ官吏ガ、人民ノ爲ニ眞ニ献身的ニ働ライテ居ルト言フ事ヲ、明示シタナラバ、官吏ハ宣教師カラ、共鳴ト同情トヲ得ルデアロウ。記者ハ、或未信者ノ内地人官吏ノ態度ヲ、記者ノ友人ナル或宣教師ニ、説明シタ處ガ、早速其ノ共鳴ヲ得テ、愉快ニ思フタコトガアル。記者ハ、ソレガ。又双方ノ助ケトナル事ヲ望ムノデアアル。

學校ト宣教師

此ノ點ニ關シテ、茲ニ少シ提言シタイト思フ。ソレハ現今非常ナ勢ヲ以テ發展シテ居ル教育事業ノ中ニ、宣教師ト總督府トヲ眞ニ一致協力セシムル、最良ニシテ且最モ容易ナル方法ノ存スル事デアアル。此ノ兩者ハ何レモ教育事業ノ局ニ當ツテ居ル故、各自ガ夫レ々々他ヲ理解スル事ニ勉メ、又宣教師モ、總督府ガ衷心カラ人民ノ爲ニ、働ライテ居ル事ヲ信ズル事ガ出來ルナラバ、双方調和シテ仕事ヲ成シ得ルデアロウ。

一層深キ積極的同情

終リニ記者ハ朝鮮内在住ノ内地人官吏、教育家及個人タル市民ニ對シ、一層深キ積極的同情ヲ朝鮮人ニ寄センコトヲ希望スルモノデアアル。中ニハ既ニ左様ナ同情ヲ表シテ居ル者モ有ツタガ、彼等ニハ、同情スル事ガ出來ナイト思ハレル様ナ、面倒ナ事故ガ、起キテ來テ、ソレヲ止メタト云フ事デアアル。併シ日本ガ朝鮮人ノ愛情ト忠誠トヲ贏チ得ントスル以上ハ、モット深イ同情心ヲ現ハサネバナラヌ。斯克セントスル一ツノ方法

ハ次ギノ如キモノデアル。

朝鮮人ニ對シテ、不正ノ處置アツタ事、及現ニ有ル事ハ、實際ニ認メラレテ居ル。是ハ時ニハ一私人ノ無賴漢ガ、朝鮮人ノ無智或ハ不注意ニ附ケ込ンデシタ事デ有リ、又時ニハ政府ノ官吏カラ爲サレタコトモアル。或場合ニハ之ヲ高級官廳ニ訴ヘテ非違ヲ正シ、犯罪人ハ其ノ爲罰セラレタコトモアル。併シ斯ル場合ニハ、殆ド何時モ、宣教師ガ朝鮮人ノ側ニ立ツテ其冤枉ヲ雪イダノデアアル。之ハ間違ツテ居ル。宣教師ノ爲タ事ハ、悪ルクハナイガ、内地人ガソウ爲ナカッタノハ間違ツテ居ル。内地人ハ宜シク、愛心ト忍耐トヲ以テ、奮ツテ不正ト壓迫トヲ排スル朝鮮人ノ擁護者トナルベキデアツタノデアアル。斯クスルノハ、法律ヲ執行スル所ノ官吏ニ反抗スル爲デハナクシテ、彼等ヲシテ眞ニ公正ナル處置ヲ爲サシムル様ニ幫助スル爲チノデアアル。朝鮮人ガ官吏ノ援助ヲ受ケズシテ、之ヲ宣教師ニ求ムルニ付イテ、不平ヲ鳴ラスノハ無益デアアル。併シ彼等ガ宣教師ニ向フノハ、宣教師ガ彼等ニ對シ、私ノ無イ愛ヲ持ツコトヲ知ツテ居ルカラデアアル。内地人モ之ト同様ニ、純粹ニシテ私ヲ挾マザル愛ヲ以テ對スルニアラザレバ、過去ノ事ノ爲ニ、今日多クノ人ノ胸ニ殘ツテ居ル、苦痛ト不信ノ念トヲ一掃スルコトハ出來ナイノデアアル。

朝鮮ニ多年居住シテ居ル内地人カラ聞イタ次ノ言葉ハ、其ノ中ニ今述ベタ記者ノ意味ヲ盡クシテ居ル様デアアル。其ノ人ノ言葉ニ、「今ヤ朝鮮人民ガ内地人ニ對シテ言フニハ、貴下等ハ、我等ニ、道路、鐵道、電信、學校、鞏固ナル政府、其他總ベテノ斯様ナモノヲ與ヘタ、是ハ我等ノ感謝スル所デアアルガ、併シ今一ツ願イ

タイノハ、ドウカ來ツテ死ヲ共ニシテ下サイト言フコトデアル』ト話シタ。

又別ノ内地人ガ話シタノデハ、『大事ニノミ干涉シテ小事ニ拘ラナカッタ露西亞ハ、嚴格ナ父ノ如キモノデ、日本ハ恰カモ繼母ト同様デアルト、朝鮮人民ハ感ジテ居ル』トノ事デアル。

此ノ二ツノ言葉ハ、問題ノ全局ヲ解決スル鍵トナルベキモノヲ包含シテ居ル、過去ニ於テハ、非常ニ恐ルベキ誤解モ有ツタガ今日ノ朝鮮ハ眞ノ兄弟ノ親ミト同感共鳴ノ域ニ到達シツツアル。若シ總督府ガ、博大ナル政策ヲ確立シ、而シテ之ガ實行補佐ノ任ニ當ルモノガ、其ノ見地ヲ廣クシ、假令、朝鮮人民ガ往々粗野ニシテ氣隨氣儘ナル氣質ヲ現ハス事アリトモ、能ク民衆ノ立場ヲ理解スルニ至リ、其ノ上子供ノ爲ニハ死ヲモ辭セザル、眞ノ母タル精神ヲ以テ一致協力シテ働ライタナラバ、アラユル問題ハ、悉ク解決シ、朝鮮ハ衰頹ノ現狀ヨリ漸次回復シ、日本帝國ノ幸福隆昌ナル一部トシテ立ツニ至ルデアロウ。

(備考)

本通信ハ、記者ガ一人トシテノ仕事デ有ツテ、其ノ全責任ハ、記者ガ負フモノデアル。本文ハ、餘リニ草率ニ、且、微少ナル智識ニ基キテ起草シタモノデアツテ、大ナル價值ナキ事ハ、記者ノ能ク承知シテ居ル所デアルガ、本文ハ本文ダケノモノトシテ提出シタ次第デアル。記者ハ、記者ガ見タ澤山ノ良キ事物ニ就テハ、紙面ニ限リアル爲、加筆スベキ賞讚ノ辭ヲモ、之ニ記載スルヲ得ザリシコトヲ非常ニ残念ニ思フ。併シ善事ニ注意ノ要ナキハ、猶、强健ナル人ニ、醫師ノ必要ナキト同様デアル。故ニ記者ガ接觸シタ

ハルモノノ中、改善ノ必要アリト感シタル要點ノミヲ主トシテ列記シタマデアル。

記者ハ、今一層組織的ニ評論シタイノデアツタガ、併シ、現在ノ記者ノ智識デハ、ソレハ困難デ有ル。他日、本問題ニ相應セル同情的研究ヲ遂グルコトヲ得レバ、恐クハ、眞ニ今一層有益ナ御參考トナルデアロウ。

最後ニ上記ノ評論ハ、被批評者ノ希望ナキ以上ハ、公表スル積リハナイノデアアル。記者ハ、自己ノ持論ヲ隠スモノデハナイガ、本文ハ、直接關係者ノ外ニハ、用ノナイ露骨ナ言葉モ有ルカラ、記者ガ友人間ノ内密ナ私信ノ積リデ書イタ言葉ノ爲ニ、記者ノ友人ヲ、非友誼的批難ノ危地ニ立タシムル必要ハ、少シモナイト思フノデアアル。

第二 ビゲロー氏ノ講演

左ハ本年五月中滿鮮各地ヲ旅行シタル世界的著名ノ著述家ニシテ植民政策學ノ權威ナル米國人

Poulney Bigelow 氏ガ六月上旬東京一橋商科大學ニ於テ爲シタル講演ノ概要ナリ

「ビゲロー」氏ハ、六月七日ヨリ九日マデ、三日間毎日午後二時ヨリ三時マデ一橋商科大學ニ於テ、英、米、日三國ノ植民ニツキ講演ヲ爲シタリ。聽講者ハ、同校學生ヲ主トシ職員及澁澤子、外少數ノ外來者アリ、連

日立錐ノ餘地ナキ有様ナリキ。

氏ハ、開口第一ニ獨特ノ純朴ノ口調ヲ以テ新聞ヲ攻撃シ、新聞ハ、人ニ憎惡ヲ教唆スルモノニテ、國際的社會的平和ヲ攪亂スルモノナリト叫ビ、米國ニ於テ、今日排日ノ氣分張り居ルハ、米國民ガ好ンテ新聞ヲ讀ム爲ナリト論セリ。

更ニ、今日ノ各國家民族ハ、今日生レタルモノニアラスシテ、過去ノ產物ナレハ之ヲ正當ニ了解スル爲ニハ、其國家民族ノ過去ヲ學ハサルヘカラス(Past is the safe indication of present.)トシ、日本民族ガ祖先ノ英傑ノタメ神社ヲ献立スル習慣アルヲ賞揚セリ。又氏ガ四十五年前浦賀ニ於テ難船セル時其ノ漁夫ノタメニ受ケタル好意ヲ感銘シ、カカル人民ヲ有スル國ガ眞ノ文明國ナリト稱讚セリ。

次ニ氏ハ、本問題ニ入り簡單ニ、英國ノ北米ニ於ケル植民、印度及南阿ニ於ケル植民ノ歴史ヲ語り、獨乙ノ植民政治ノ科學的ナルニ反シ、英國ノ常識的ナルヲ指摘シ、(No colonial theory in England.)極力植民地ニ於ケル繁文縟禮ヲ排斥セリ。

氏ハ、英國流植民政治ノ最興味アル一例トシテ、「アフリカ」州「スダン」ニ於ケル、瑞西位ノ大キサアル植民地ノ實際ヲ語レリ。同地ニハ、長官家族ノ外、數名ノ英國官吏アルノミニシテ、他ニ何等英國ヲ代表スルモノナシ。氏ハ、長官ニ向ヒ此ノ少數英國官吏ヲ以テ、如何ニ其ノ全土ヲ治ムルヤト質問セシニ、長官ハ土著ノ酋長ノ信賴ヲ得居ル故、彼等ト協力シ、彼等酋長ヲシテ主トシテ働カシムト答ヘタリ。

如何ニシテ、法律ヲ強制スルヤトノ問ニ對シ、長官ノ答ニ曰ク、法律ヲ強制スルノ要ヲ見ス。萬一會長等ガ自己ノ意見ニ從ハサル時ハ、唯一ノ威嚇ノ道ヲ取ル。其方法ハ、汝等若シ余ニ從ハズバ、余ハ此ノ國ヲ去ツテ英國ニ歸ルベシト言フニアルノミト答ヘタル由。

氏ハ、各民族ガ、各、其ノ特性ヲ有スルモノニシテ *Two are alike* ナンバ、之ニ劃一主義ヲ行ハントスルハ、策ノ極メテ拙ナルモノナリト論シ、英國ガ、先ヅ各植民地ノ住民ノ意見ヲ聞クト云フ遣リ方ヲ可ナリトセリ、而シテ、獨逸流植民政策ノ失敗ニ反シ、英國流植民政策ノ成功ノ證トシテ、世界大戰ノ際、南阿ノ「ボアラ」ガ一致シテ、英國ト共ニ戰ヒタル事實ヲ以テシ、之レ實ニ *Surprise of colonial administration* ナリト言ヘリ。

氏ハ、「オーストラリヤ」及「カナダ」ニ就テ、論スル時間ヲ有セサリシガ、一言只自治領ハ、一般ニ他ノ植民地ニ比シ、成績擧ラスト批評セリ。印度ニ於ケル英國ノ政策ハ、屢誤ナキニアラサリシガ、印度人ハ機智ニ富ムモ *No back bones* ナル故、英國ノ統治ノ下ニ立テルハ、結局印度人ノ幸福ナリトホノメカセリ。

氏ハ、又個人トシテハ奴隸制度ニ反對スルモノニ非サルコトヲ明言シ、米國ニ於ケル黑人ハ、阿弗利加ニ於ケル同族ヨリモ遙ニ生活ノ程度高く、一八五〇年以來唱道セラレ居ル、米國黑人ノ歸國論ハ、更ニ實行セラルル望ナシト言ヘリ。要スルニ氏ハ人民ノ實生活ノ向上ト云フコトニ立脚シテ、植民政治ヲ觀察シ居ルモノノ如シ。右講演中ニアリテモ氏ハ、絶ヘズ新聞ニ對スル反感ヲ示シ、「リツプヴァン、ウインクル」ノ例モ

引イテ米國獨立戰爭後、新聞ノタメニ如何ニ社會ガ攪亂セラレタルカヲ述ベ、「スダン」植民地ノ話ノ際ニモソコニハ No paper which makes people hate each other ト評シ而シテ最後ニ學生ニ向ツテ Scholarly appeal トシテ Emancipate yourselves from press ト叫ヘリ。更ニ人ハ、兄弟ト雖全ク同ジモノニ非ザレハ、民族ト民族トノ間ニ種々ノ相違スル點アルハ自然ナリ、諸君ハ、細微ニ涉リテ民族間ノ相違スル點ヲ見出サント努ムルコトヲセズ、寧ロ相一致スル理想ノ爲ニ犠牲トナルヤウ努力セラレンコトヲ望ムト述ベ、「キプリング」ノ詩ヲ引イテ、世人ガ、屢同詩ノ初行 Oh, East is East, and West is West, and never the twain shall meet ヲ引用スルモ、其ノ末行タル But there is neither East nor West, Border nor Breed, nor Birth, When two great men stand face to face though they come from the end of Earth ニ々々ヲ引用スルヲ怠ルコトヲ憤慨セリ。

第二日ハ、米國植民的發展ニツイテノ講演ナリシガ、氏ハ先ヅ人ヲ正シク觀察スルニハ、單ニ其ノ人ノ現狀ヲ知ルヲ以テ足レリトセス、其ノ人ガ如何ナル理想ニ憧レ居ルカヲ知ラサルベカラス。國家民族ノ觀察ニ於テモ同様ナリトシ米國ノ建國ガ、理想主義ノ上ニ存スルコトヲ論シ、初代大統領ガ、前後十五年間無給ニテ奉仕セルコト、現在外交官ガ、實費以下ノ俸給ニテ満足スルコト、社會的奉仕ヲセサルモノハ、米人ノ尊敬ヲ受クル能ハサルコトヲ論シ、本問題ニ入りテ、英國植民時代以來今日ニ至ルマデ、米國領土擴張ノ歴史ヲ簡單ニ述ベ、西部諸州合併後鑛山ノ發見ニヨリ、俄ニ富ヲ得、且理想主義ノ米國ハ、一大誘惑ニ遭遇セ

ルコトヲ認メ、シカモ米國ニ於テ、單ニ富アルガ爲ニ人ノ尊敬ヲ受クル能ハス、全國到ル處理主義ノ紀念碑ヲ見サルナキハ、以テ米人ノ憧憬ノ奈邊ニ存スルカヲ窺フニ足ルト結論セリ。米國領土擴張ノ歴史ニ於テ、氏ガ最聽衆ノ注意ヲ惹カント努メタル點ハ、植民ノ原動力ガ政府ニアラズシテ、個人ニ存スルコト (Drive and push from individuals not by general government.) 及此ノ擴張ガ銃火ヲ以テ行ハレスシテ、平和ナル手段ヲ以テ行ハレタルコト之レナリ。

一六二〇年ノ英國植民ハ、本國ニ於ケル宗教的壓迫ヲ、逃レン爲ニ來リタルモノニテ、新英州ノ文明ハ、本國政府ノ植民官廳トハ何等ノ關係ナク發達セリ。其後東西三千哩南北二千哩ノ廣土ハ、軍艦一隻ノ代ニモ足ラヌ金錢ヲ以テ買收セラレタリ。加州ノ併合ノ如キハ「レモント」氏一行ガ個人トシ 科學的探偵ニ出カケタルガ原因トナレリ。政府ハ、其一行ガ大砲彈藥ヲ携ヘ居ルコトヲ聞キ込ニ問題ノ生センコトヲ恐レテ使ヲ派シ歸還ヲ促シタリ。然ルニ「レモント」氏ノ妻ハ、政府ノ意志ヲ探知シ、急使ヲ夫ニ送り政府ノ使者ノ到ル前桑港ニ赴クヘシト申シ送りタリ。「レモント」氏桑港ニ著スルヤ否ヤ西班牙政府ノ虐政ニ不滿ナリシ白人等ハ、反旗ヲ翻シテ獨立ヲ宣言シ、合衆國聯邦ニ加盟ノ意志ヲ發表セリ。斯ノ如クシテ加州ノ合併ハ實現セラレタリ。

「布哇」「ヒリピン」「アラスカ」等ノ併合ニ就テモ簡單ニ言及シ、サテ曰ク、此ノ如ク米國領土ノ擴張ハ、決シテ侵略主義ニ依ルモノニアラスシテ或ハ個人ガ原動トナリ、或ハ外界ノ事情ノタメ余儀ナクセラレテ現狀

ヲ見ルニ至リシモハナリ。而シテ此ノ廣大ナル領土ノ上ニ更ニ無限ノ富ヲ與ヘラレタルハ、米國ニ取リテハ神ノ大ナル刑罰ト同様ナリ。 Who can remain pure when he is in possession of immense amount of money? ト歎息セリ。

此ノ講演中ニ於テモ氏ハ、新聞紙ニ對スル反感ヲ示シ、米國ハ一八一五年平和百年紀念祝賀ヲ行ヒタルカ實際平和ナル此ノ百年間新聞ハ絶ヘズ戰爭ノ騷キヲ爲シ居タリト云ヘリ。

氏ハ、米國ノ「メキシコ」併合ヲ以テ同國人ノタメ有利ナリト考ヘ、一八四八年「メキシコ」首都ガ米國ノタメ占領セラレタルヲ、政黨ノ關係上(當時奴隸三人ニ對シ二票ノ投票權アリシヲ以テ、北方ハメキシコ併合ノ爲南方ノ勢力増進ヲ恐レ墨國ノ併合ニ反對セリ)之ヲ放棄スルニ至リタルハ遺憾ナリトセリ。

氏ハ、Sportsmanship in colonization ト云フコトヲ高調シ、コレヲ以テ英國成功ノ秘訣トシ、之ト反對ナル獨乙ノ狡猾ナル手段ヲ攻撃シ、米西戰爭ノ際「デューグイ」大將ニ對スル獨乙海軍中將「フオンデイトリツシ」氏ノ陰謀、並ニ英國將校、及日本將校(現總督)ノ男ヲシキ拒絕ノ物語ヲナシ、獨乙植民政策ノ運命ヲ憫ミタリ。

第三日ハ、日本ノ植民的發展ヲ演題トセシガ、氏ハ先ヅ、日本ノ人口問題ニツキ一言シテ曰ク、日本ハ年々其ノ過剩人口ノ處置ニ頭痛ヲ病ミ居ル様子ナルガ、人口ノ稠密ト云フコトハ、必スシモ不幸ナルモノニ非サルヲ記憶スベシ。之ヲ歴史ニ案スルニ、昔ヨリ文明ノ發達セル所ハ、決シテ土地豊沃ニシテ人口稀薄ナル

所ニアラス。

文明ハ、寧ロ土地瘠セ、人餘リ、生活上困難多キトコロノ人民ガ、其ノ自然ノ不利ト戦ヒ、刻苦ノ結果産ミ出シタルモノトシ、人ハ Justice ト Liberty ト Opportunity トヲ追求スルモノニシテ、此ノ三ツヲ比較的多ク享樂スルコトヲ得ルトコロハ、自然人口モ稠密ニナルモノナリト注意セリ。

本問題ニ入りテ、先ヅ臺灣ヲアゲ、大體ニ於テ文化的政治ニ傾キツ、アルヲ喜ビ、之ヲ二十年前ノ臺灣ニ比シ、如何ニ島民ノ爲福利ヲ與ヘ居ルカヲ賞セリ。然レトモ氏ハ、田總督ノ態度ニ不満足ナリシカノ如キ口吻ヲ洩セリ。田氏ハ「ビ」氏ニ對シ、臺灣統治ニ關スル意見ヲ求メタル故一「ビ」氏ハ先ツ田氏ノ意見ヲ向ヒタシト言ヘルニ田氏ハ、之ニ明答ヲ與ヘサリシモノ、如ク「ビ」氏ハ意見ハ之ヲ聞ノ人ニ利アリテ言フ人ニ利アラス互ニ交換シテコソ相互ノ利益トナルモノナリ、日本人ガ自己ノ意見ヲ發表セスシテ、他人ノ意見ノミ聞カントスル習慣ハ、改ムルヲ要スト評セリ。

「ビ」氏ノ田氏ニ與ヘタル意見ハ、土著人民ヨリ代表者ヲ招集シ、彼等ノ意見ニ耳ヲ傾ケ、人民ト共ニ政治ヲ行フヤウニスベシト云フニアリタル由。

次ニ朝鮮ノ統治ヲ論シ Wonderful ナリト稱揚シ、其ノ山々ニ植エ付ケタル樹木ハ、Symbol of organization ナリトシ之ヲ北京ノ現状ニ比シ雲泥ノ差アルヲ指摘セリ。

政治ノ要諦ハ、人民ニ自由ヲ與フルト共ニ法ヲ遵奉セシムルニアリ。此ノ兩者ノ結合ハ、何レノ地ニ於テ

モ困難ナル問題ナルガ朝鮮ニ於テモ同様ナリ。

青島ハ、一九九八年初メテ足ヲ入レタルコトアル處ナルガ、當時ノ状態ト今日ノ状態トハ、全ク雲泥ノ相違アリ。「デイトリツシ」中將ハ、米國ニ於ケル陰謀破レテ青島ニ赴キ、些細ナル口實ノ下ニ之ヲ占領シ、之ヲ軍人ノ獨占トナサントセリ。自分ガ青島ニ行キタル時、中將ハ青島ニ商人ノ入り來ルヲツブヤキ居タル故余ハ植民地ハ、商人ノ爲メニアラスヤト反駁シタルコトアリ、以テ彼ノ態度ヲ窺フニ足ル、日本ガ之ヲ占領シテヨリ、戶ヲ開キテ商港トシ人口ハ俄ニ増加セリ、實ニ *Earth belongs to those who use it best* ナリト云ヘリ。

「ビ」氏ハ、此ノ講演ヲ了ヘ、同夜直ニ「サガレン」ニ向ヒ出發スベキ由ヲ語り、最後ニ、日本ニ對スル唯一ノ批評ナリトシテ *Lack of frankness* ヲ舉ケ、是レ日本國民ノ大缺點ナリト赤クナツテ警告セリ。

第三 「ビゲロー」氏ノ日本殖民地政策

一九二二年六月二十八日東京發行「ジヤパン、アトバタイザー」所載

日本領地ノ人民並世界ノ人類ハ、日本統治ノ存在ヲ德トセネバナラナイトハ、米人著述家「ビゲロー」氏ノ語ル所テアル。氏尙曰ク、日本ノ朝鮮統治ハ現代文明ノ紹介ヲ意味スルモノ、具體的ニ云ヘバ、港灣、道路

學校、病院、監獄等ノ施設テアル。鮮人ハ、未タ其價值ヲ十分認メナイカモ知レナイガ、是等ハ、彼等ノ尤モ尊重スベキモノテアル。若シ、鮮人ガ日本ニ向テ、日本統治ヲモハヤ要セスト云フナラ、宜シイ吾々ハ是迄ノ港灣モ、鐵道モ、建築物モ、工業モ、一切破壊スルト日本ハ答ヘルテアラウ。サウ云ハレテハ道ノ鮮人モ閉口セサルヲ得ナイテアラウ。初メ英國ニ反シテ戰フタ處ノ南阿「トランバール」人モ歐洲戰亂ニ際シテハ、英兵ト聯合シテ戰線ニ立ツタ。彼等ハ英國ニ占領セラレシ以前ノ状態ニ歸リタイト思ハヌ。印度ノ人民モ英國ノ指導ヲ排シテ以前ノ混沌状態ニハ戻リタク思ハナイ。余ハ一八七六年ニ日本へ來タ時臺灣ハ、野蠻ナ南洋島ノ一ト思ハレ、其處へ行ク人ガ無イ、偶破船シテ島ノ海岸ニ打上ケラレンカ、土人ノ爲ニ食ハレテ了フト云フ有様デアツタ。處ガ今日ハ、ヨク整頓セラレ、到ル處現代的ノ港灣、道路、學校、病院等ノ公共事業ガ見ラレル。

日本ハ、朝鮮ヤ臺灣ヲ永久ニ支配セントハシナイ、只其土地ノ人民ガ、自ラ施シ得ルヨリモ勝ツタ政治ヲ施シ得ル間ダケテアル、若シ其ノ統治ニシテ低級、且壓制的ナランカ、人民ハ立ツテ日本人ヲ海ニ投スルテアラウ。而シテ世界ハ、彼等人民ヲ援助スルテアラウ。致馬ニ於ケル西班牙人モ、比律賓人モ、同一ノ例ヲ示シタ。歴史ハ常ニ繰リ返ステアラウ。思フニ山東問題モ同一テアル。若シ余ノ意見ヲ叩クモノアランカ、余ハ答ヘテ、山東還附スベシト云ハン……………。山東所有ハ、無駄ナ費用ヲ意味スル。之ヲ放棄シテモ日本ハ其土地カラ産業上ノ利益ヲ相當ニ得ラレルノテアル。比律賓モ然リ米國ガ該島ニ注込シダ金ハ其收益ヨリモ

多イ。

隣邦人が出來ルタケ文明ニナリ、生産的ニナル事ハ、各國民ニ取テ尤モ有益テアリ、而シテ又斯ク爲スハ、其國民ノ權利テアル。凡ユル強大國ハ、同一ノ政策ニ從フ。米國ハ、日本ガ其植民地ニ施シツアル處ノ政策ヲ玖馬ニ施シタ、米國ハ、今ヤ比律賓、「ハイチ」ニ對シテモ同一ノ筆法テアル。吾人ハ曾テ、「メキシコ」ヲ占領シタ、而シテ再ビ之ヲ占領スルテアラウ。メキシコヲ教育シ、開發シテ世界ノ現代的一國トナサンニハ之ヨリ外ニ方法ハナイダラウ。米國ハ、日本ノ朝鮮、臺灣「サガレン」ニ於ケル計畫ニ對シテ感謝セネバナラヌ、日本ハ、色々ノ事業ヲ試ミ、其經費ヲ負擔シツ、アル。然ルニ、米國ハソレカラ利益ヲ得ツ、アル。到ル處其レ等ノ植民地ニ於テハ、米國製ノ機械ガ農園ニ、道路ニ、工場ニ、澤山使用サレテ居ル。米國ハ、支那ニモ日本ニモ宣教師ヲ送ツタ。彼等宣教師ハ、何レニ於テモ其國ノ賓客トシテ自ラヲ處セネバナラナイ。若シ彼等ガ其國ノ政治的狀態ヲ好マナイナラ。事ヲ起サシテ靜ニ自ラ退去スベキテアル。余ハ朝鮮ニ於ケル日本ノ行動ガ悉ク是ナリトハ申サナイ。併シ余ノ觀察ニ依リ 日本統治ノ效果ヲ實見シタル事ヲ申シタイ。勿論理想的テナイモノガ色々アラウ、ケレト既ニ見ルベキ改革事業ガ少シトセナイ、其ノ價值アル點ハ、大ニ稱揚セネバナラナイ。余ヲ稱シテ親日党ト云フ者 ルガ、ドウ云フ意味テアラウカ、彼等無論事實ニ對シテ盲目テハナイ、余ガ日本人ヲ稱揚スルハ、只其價值アル點ニアル。ケレド人ガ此ノ國ハカウイウエライ事ヲシタト叫フト、世間テハスグ其ノ人ヲ其國ノ味方ノ様ニ云フ。余ハ、獨逸人ノ唯一ナ特長ヲ常ニ賞揚シタ。

今チモ余ハ世界ニ於テ模範的ノ市政組織ヲ有スルモノハ獨逸人ダト信スル。余ハ毫モ獨ノ軍國主義ヲ擁護シタ事ハナイ。ケレド其ノ市政上ノ美點ヲ賞揚シタガ爲ニ、余ハ屢親獨黨ノ如ク批評サレタ。

ビゲロー氏ハ、當面ノ問題ヲ實際的ニ觀察シ、歴史の例證カラ之ヲ推論シテキル。氏曰ク、「サガレン」ハ一○大○富○源○テ○ア○ル○、日○本○ハ○之○ヲ○利○用○シ○テ○木○材○、石○炭○、石○油○、魚○類○等○ノ○供○給○ヲ○得○ネ○バ○ナ○ラ○ス○。是○等○ノ○産○業○ハ、日○本○ガ○最○モ○必○要○ヲ○感○ス○ル○所○ノ○モ○ノ○、日○本○ハ○先○以○テ○「サガレン」ヲ○開○拓○セ○ネ○バ○ナ○ラ○ナ○イ○、而○シ○テ○未○ダ○其○方○面○ニ○急○速○ノ○進○步○ヲ○ナ○シ○テ○キ○ナ○イ○。人ハ云フ、斯様ニ寒イ氣候ノ地ニドウシテ住マレヤウト。成程、其處ノ日本人ハ、露人ノ丸木小屋ヲ眞似セスシテ、加奈太ノ氣候ト同ジヤウナ地ニ「フロリダ」州ノ氣候ニ適スルヤウナ小家屋ヲ造ツテキル。今ノ處住民モホンノ僅カテアルガ、一步進ンテ生活法ヲ講スルナラバ、此ノ島カラ最善ノ結果ヲ得ラレルテアラウ。

「ビゲロー」氏ハ、近々歸米ノ途ニ上リ紐育ノ自宅ニ於テ、過クル二箇月間、日本ノ植民地ヲ訪問シテ蒐メタル材料ヲ基礎トシテ、一書ヲ著述スルテアラウ。恐ク數ヶ月ヲ要スルテアラウガ、本年中ニ完成スル豫定テアル。

第四 世界ニ於ケル日本ノ地位

市俄古大學教授人類學博士「エラ・スタール」氏講演

本講演ハ大正六年三月二十日大阪天王寺公會堂ニ於テ爲シタルモノナリ

私ハ、今午後諸君ニ向ツテ、少時ノ間「世界ニ於ケル日本ノ地位」ト云フ題目ニ就テ、聊カ私ノ考ヘヲ述ベテ見タイト思フ。歴史ノ頁ヲクリ返シテ見ルト、日本ハ、世界ニ於ケル自國ノ地位ヲ、一向ニ顧ミナイ時代ガアツタ。否單ニ顧ミナイノミナラズ、他國カラ除外サレルノヲ喜ンデ居タ時代モアツタ。然ウシテ此ノ鎖國孤立ト云フモノハ、實ニ數世紀ニ亙ツテ行ハレタ。此ノ時代ノ日本ハ、自分自身丈デ満足シ、國外ニ對シテハ、猜忌深ク、且恐怖心ヲ懷イテ居タモノデ、從ツテ外國トハ一切ノ關係ヲ有タナイ方針ヲ採ツテ居タ。此ノ方針ハ又極端ニ趨ツテ、例ヘバ、日本ノ船ガ、外國ノ海岸デ難船シタ場合デスラ、外國カラ救助ヲ受ケル事ガ出來ナイト云フ始末デアツタ。コレハ、日本ノ國法ガ、日本人ニ外國ノ土地ヲ訪問スルコトヲ、嚴禁シテ居タ結果デアアル。斯ノヤウナ不自然ナ鎖國主義ハ、前云フ如ク數世紀ノ間續イタ。

併シナカラ、此レハ既ニ過去ノ範圍ニ屬スル、即チ過ギ去ツタ歷史上ノ事實トナツテ終ツタ。今日デハ日

本ハ、モ一獨リボツチデハナイ。日本ハ世界ノ仲間入リヲシ列國ト絶エザル交通ヲ維持シテ居ル。日本ガ、斯ノヨウニ面目ヲ一新シタノハ、僅ニ六十年前ノ事デアアル。當時日本ハ、自ラノ希望ニアラズシテ、否殆ント脅迫的ニ、外國トノ交際ヲ強ヒラレタノデアツタ。併シナガラ外力ニ餘儀ナクセラレテ、外國ト交際ヲ始メタ日本ハ、今度ハ積極的ニ如何ニセバ世界ニ、於イテ自國ノ地歩ヲ固タメ得ルカニ就イテ、腐心シ始メタ。日本ガ列強ノ班ニ入ル迄ノ努力ハ、世界各國ノ歴史中デ、最モ面白イ、又一面最モ悲壯ナル物語ヲ形チ作ル。

世界列國ノ仲間入リヲシタイト云フ欲求ノ爲ニ、日本ハ如何ナル代價ヲ拂ツタカ、如何ニ多クノ古イ物ヲ捨テタカ、而シテ如何ニ多クノ新シイ事物ヲ採用シタカ、即チ、日本ハ外界ノ状態ニ鑑ミテ、自己ノ有スル從來ノアラユル考ヲ訂正シタ、學校ノ組織ヲ新ニシタ、教育ニ關スル新思想ヲ採用シタ、新法律ヲ制定シ、新裁判所ヲ設立シタ。更ニ貨幣制度ヲモ變更シタ。一言之ヲ蔽ヘバ、日本ハ列國ノ仲間入リヲスルガ爲ニ、生活ノ全部ヲ舉ケテ、改正ヲ加ヘタ。

今日ニ於イテハ、日本ハ大層外國ノ批評ヲ氣ニスルヤウニナツタ。諸外國ヲシテ、日本ヲ認識セシメント浮身ヲ窺スヨウニナツタ。換言スレバ、日本ハ、總ユル點ニ於テ、世界ノ最モ進歩セル國ト對等ノ位置ニ立ンコトヲ希望シ、此ノ希望ヲ貫徹スルガ爲ニ、日本ガ如何ニ進歩シテ居ルカ、又如何ナル地歩ヲ贏チ得タルカヲ、世界ニ向ツテ廣告スルニ、有ユル機會ヲ擱マン事ニ努力スル。

今、コノ一例ヲ云ヘバカノ萬國博覽會デアアル、苟モ萬國博覽會ト名ノ付クモノニハ、日本ハ必ラズ、其ノ

仲間ニ加ハル、面倒臭イカラ、マア止メヨウナンテ云ツタ事ハ未ダ嘗テナイ。私ノ記憶ニヨレバ、一八九三年(明治二十六年)ニ開催サレタ市俄古大博覽會デハ、米國ノ博覽會當局者ハ、陳列品ノ科目ヲ分類シテ凡テヲ十六科目ニ分チ、世界各國ニ向テ其ノ全科目ニ涉ツテ出品スルノ勸誘狀ヲ發シタ所ガ此ノ米國ノ勸誘ニ應ジテ、全科目殘ラスニ亘ツテ出品シタモノハ私ノ本國亞米利加ヲ除イテハ、他ニ唯一ノ日本アルノミデアツタ、夫カラ又一九一〇年(明治四十三年)初メ數ヶ月ヲ私ハ東京デ過シタ。其折ノ日本ハ、上下ヲ舉テ同年ノ夏倫敦デ開カルル日英博覽會ノ準備ニ忙殺サレテ居タ。東京ノ市民ハ、舉テ倫敦ニ送ルベキ最良ノ品物ヲ造ルニ没頭シテ、又他ヲ顧ルノ遑カナイ位デアツタ。此ノ努力、此ノ奮勵ハ、日本ガ歐米ニ信用ヲ博センガ爲メニ拂フ代價デアアル、換言スレバ此レ自分ノ價值ノ認識ヲ世界ニ向ツテ挑ムモノデアアル。

六十年前ト、比較シテ、日本ノ變化ハザツト斯ノ如キ有様デアアル。世界ニ向ツテ門戸ヲ閉シテイター一八五〇(年嘉永三年)ノ日本ト、世界ニ對シテ、最モ有利ニ自己ヲ示サウトシテ、積極的ニ努力シツ、アル一〇〇年(明治四十三年)ノ日本トノ間ニハ實ニ霄壤モ營ナラザル相違ガ存在スルト云ハナケレバナラス。

日本ハ、四分ノ一世紀間ニ、二度モ大戰爭ヲ行ツタ。一八九四―五年(明治二十七八年)ニハ、支那ト戰フテ赫灼タル勝利ヲ得タ。次ニ一九〇四―五年(明治三十七八年)ニハ露國ヲ向フニ廻シテ、遅レテ列強ノ仲間入りヲシタ。日本ハ、必ズシモ近世戰術ニ於イテ、遅レテ居ラヌ事ヲ示シタ。平和ノ事務ニ於テ、又戰爭ノ技術ニ於テ、決シテ世界ニ遅レテ居ラヌ事ヲ示シタ。日本ハ、斯ノ如クニシテ漸然トシテ頭角ヲ擡ゲ來タ。

ソコテ私ハ、諸君ニ疑問ヲ提出シタイ、ソレハ現在ノ日本ガ、世界ノ一強國トシテ、果シテ何ノナ役目ヲ演シテイルカ、世界ニ於ケル日本ノ地位ハ如何、又ソノ地位ハ、近い將來ニ於イテ、如何ト云フ疑問テアル。此ノ疑問ニ答フルノガ即チ私ノ演説ノ主意テアルトモイヘル。扱テ前記ノ如ク、世界ニ泳キ出シタル日本ハ其ノ實力ヲ自覺スルニ及ンテ、此ニ膨脹時代ガ來ツタ。日本ハ、亞細亞ノ東ノ端ニチヨコナント澄シ込ンテ居ル小サイ島國テアツタ。コレガ支那ト戰爭シテ大キナ臺灣ヲ呑ンダ、次テ露國ト戰爭スルニ及ンテ、樺太ノ半分ダケノ大キサヲ増シタ。斯ノ如ク、日本ハ、自覺時代ヲ過キテ、發展ノ道程ニ上ツテ居ル、コレハ自然テアル。自然テアルカラ、日本ハ、益々廣クナツテ行ク、廣クナツテ行クノハ、精力ノ強イ、健全ナ國民ノ特性デアアル。ダカラ臺灣樺太ヲ併セテ其レデ日本ハ成長ヲ已メタノテハナイ。臺灣、樺太ヲ收メタル本ハ、今度ハ朝鮮ニ手ヲ延ハシタ。日本ガ朝鮮ヲ併合シタ事ハ、世界各國ノ間ニ隨分喧シイ議論ヲ惹起シタガ、私個人トシテハコレハ、寧ロ當然ノ事デアルト考ヘルモノデアアル。ア、云フ立場ニ立ツテ日本ガ朝鮮ヲ併合セヌト云フ事ハ、不可能デアルト考ヘルモノデアアル。ソノ理由ハ大凡ソ三ツアル。

第一ノ理由ハ、日本ノ人口ハ年々増殖充滿シツツアルダカラ之ニ對シテ何處カニ排ケロヲ求メナケレバナラヌ。第二ノ理由ハ、人口ガ斯クノ如ク増殖シツツ、アルト反對ニ、食料ノ生産ニ要スル地域ハ漸々狹メラル、ダカラ勢ヒ田ヤ畑ヲ、他國ニ求メナケレバナラヌト云フ事ニナル。夫レカラ第三ノ理由ハ、政治的意義ノモノデアアル。政治的カラ見テ、日本ハ是非朝鮮ヲ領有シテ置カナケレバナラヌ。朝鮮ハ日本ニ取ツテハ大陸ニ於ケ

唯一ノ足場デ、日本ガ大陸ニ足場ヲ有スルト云フ事ハ、日本國民ニ取ツテ、甚深重大ナ意義ヲ持ツテ居ルト考ヘル。

私ハ、朝鮮國民ト其ノ政府トガ、自分等ノ利益ト日本ノ利益トハ、全然同一ノモノテアルト云フ事ヲ了解シ、從ツテ彼等ガ、兩國共通ノ目的ト利益トニ向ツテ、日本ト協同一致シテ進ムベキテアツタト考ヘル。併シナカラ朝鮮國民ハ、コノ嗜易キ道理ヲ嗜ルノ明ナク、從ツテ彼等ハ日本ト手ヲ携エテ、文明ヲ樂ムト云フ方法ニ出テナカツタ。此レガ朝鮮ノ獨立ノ消滅シタ根本理由デアアル。私ハ、日本ガ半島ノ家政ヲ執ルヨウニナツテカラ七年間、具サニ其ノ施政ノ跡ヲ注目シテ居ル。日本ガ如何ニ朝鮮ヲ政治スルカト云フ事ハ私ニトツテ最モ興味アル研究テアル。日本ノ朝鮮ニ於ケル施政ハ殆ント爲サザルナシト云フ程度ノ熱心ヲ示シテ居ル。今二三ノ例ヲ舉テ見ルト日本ハ、朝鮮在來ノ教育制度ヲ改良シタ。公平ナル裁判所ヲ設ケタ。正當ナル課税ノ法ヲ發布シタ。港灣ヲ修理シタ。農業ニ補助ヲ與ヘタ。商業發達ノ途ヲ講シタ。一言ニシテ云ヘバ朝鮮ヲ富強繁榮ナラシムルニ於テ、日本ハ、殆ト有ユル苦勞ヲ味ワツタ。併シナカラ私ハ、コ、ニ一ツ除外例ヲ要求セナケレバナラヌ。日本ハ、成ル程朝鮮人ニ良イ道路ヲ與ヘタ。農業ヲ改良シタ。港灣ヲ修築シタ。鐵道ヲ布キ學校ヲ建テタ。政廳ヲ作り、裁判所ニハ各判官ヲ置イタ。之ニ對シテハ私ハ敢テ異存ハナイ。確實ニ其ノ成功ヲ認メル。併シナカラ日本ハ、此等ノモノヲ與ヘタ代リニ、朝鮮人ノ愛敬ヲ贏チ得タカ、私ハ不幸ニシテ否ト答ヘナケレハナラヌモノデアアル。物質的ニハ朝鮮ヲ開發スルニ成功シタ日本ガ、精神的ニ朝鮮ヲ我が

物トスルニ全然失敗シテキルノハ果シテ何等ノ理由ニヨルカ。コレハ或ル一ツノ物ガ缺乏シテイルカラデア
ル。一ツノ物トハ朝鮮人ガ欲シ、然モ日本ガ彼等ニ與ヘナカツタモノデアアル。即チ愛情ト云ヒ、尊敬ト云ヒ、友
誼ト呼フ所ノモノデアアル。物質的ニ領土ヲ獲テ、精神的ニ之ヲ失フトスレバコレハ成功ト稱スルニ躊躇セナケ
レバナリマセン。然ラバ、何故ニ日本人ハ、朝鮮ヲ精神的ニ馴付ケルコトニ失敗シタカト云フニコレハ
非ガ日本人ニアアル。日本人ハ、統治者ガ被統治者ニ臨ム態度ヲ持シテ居ル、之カ失敗デアアル。若シ然ラズシ
テ朝鮮人ヲ遇スルニ、友人ノ道ヲ以テシ、彼等ト共同ノ利益ト目的トニ向ツテ奮勵シタナラバ、日本ハ其時
ニ於テ初メテ朝鮮人カラ愛慕サレ衷心ヨリ援助ヲ受ケル事カ出來ルノデアアル。ダカラ現今日本ガ經驗ニ依ツ
テ學ヒ得タル最重要ナル教訓ハ、自分自身同様朝鮮人ニモ同ジ權利ト地位トヲ與ヘル事デアルト私ハ考ヘ
ル。私ハ日本ノ利益ト朝鮮ノ利益ハ、一ニシテ不可分ナモノダト確ク信シテキル。又私ハ現時ノ朝鮮ハ、日
本統治ノ下ニアツテ、富強繁榮幸福ナリ得ルモノト固ク信シテ疑ハヌ。朝鮮ガ日本ノ手ニ依テ復活スルトキ
即チ朝鮮ハ、日本ニ對スル呪咀テハナク却ツテ、日本ノ偉大ナル援ケトナリ得ルコト、ナル。併シナカラコ
レハ、朝鮮ガ、精神的ニ日本ノモノトナル事ヲ先決問題トスル。然シテ朝鮮ガ、精神的ニ日本ノモノニナル
ニハ、日本ガ朝鮮人ヲ兄弟ト認メル事共通ノ利益ノ爲ニ日本ガ彼等ト提携スルコトル前提トスル。即チ
日本ガ朝鮮ニ於テ成功セントナラバ、統治ト云フ觀念ヲステ、協同ノ精神ニヨツテ終始セナケレバナラヌ。
此レ現今ノ日本ニ取リテ最モ必要ノ條件デアアル。

愚見ニヨレハ、戦争ハ、今回ノ歐洲戦争ヲ以テ終リヲ告ケルモノトハ考ヘラレヌ。私ハ平和強制ヲ目的トスル同盟ヲ有効ナリトハ信シナイモノデアル。私ハ過去ニ戦力ヲ在ツタ如ク、未來ニモ戦ハ在ルト信スルモノデアル。ソコデ、朝鮮モ昔ノ戰場テアツタ如ク將來ノ戰場トナラヌトモ限ラヌ。朝鮮ハ日本兩度ノ大戦争ノ舞臺テアツタ如ク、將來或ハ日本ノ死活ヲ決スベキ戦争場ト化セナイトハ云ヘヌ。假リニサウ云フ事ガ起ルトシテ此ノ時日本ガ朝鮮人千四百萬人ノ友人ヲ有ツカ但シハ又日本ヲ憎ンテ其敗北ヲ希望スル千四百萬ノ敵ヲ有ツカハ、非常ナル大問題テアル。勝敗ノ數ハ或ハコレニ依テ決セラルルカモ知レナイ。朝鮮ヲ精神的ニ日本ノモノトセヨト、私ガ云フノハ 卽チ此等ノ必要ヲ見越テノ事テアル。

日本ハ既ニ台灣ヲ得タ。樺太ヲ領シタ。朝鮮ヲ併セタ。扱テ其次ハ何處カ私ノ見ル所ニヨレハ、南滿洲ハ日本ノ領土擴張ガ、當然ニ行ハルベキ土地テアル。日本ガ朝鮮ヲ併セタト同様ノ理由カラ、臆テハ南滿洲ガ日本ノモノトナルノ日ガ來ヤウ。私ハ是ハ已ヨリ得ナイ事ダト考ヘル。從テ私ハ南滿洲併合ガ日本ニヨリ故障ナク失敗ナク行ハル、事ヲ希望スルモノデアル。正義ニヨル堂々タル經營方針ヲ樹テ武力ニヨラズ滿洲人ノ協同ニヨリテ此ニ目出度日滿ノ合同ノ成ラン事ヲ希望スル。

斯クテ、滿洲ヲ其ノ領土トシタル日本ハ更ニ々々發展スベキカ如何。領土ノ擴張ガ無際限ニ行ハルベキカ如何。日本ノ帝領ハ更ニ新ナル版圖ヲ何レニカ求ムベキカ如何。私ハ思フ日本ニシテ若シ賢明ナラバ、其版圖ノ擴張ハ南滿洲丈テキツパリト止メテ置クベキデアル。日本ト朝鮮ト併シテ南滿洲トハ、天然ニ一ツノ地

域ヲ構成シテ居ル、ダカラ發展シ易ク統率ニ便テアル。指導ニ骨ガ折レナクテ効果ガ上リ易イ。此ノ自然ノ地域内ニ立テ籠ル時、日本ハ強ク、コノ線ヲ踏ミ出ス時、日本ハソノ弱點ヲ増スコトトナル。

論シテ此處マデ來レハ、私ハ勢ヒ支那ニ一言ヲ費ヤサナケレバナラス。支那ノ將來ハ如何。此レ支那ニトリテモ又日本ニトリテモ大問題テアル。現時ノ支那ハ覺醒シテ居ル。支那ハ進歩發達ノ途ニ足ヲ踏ミ入レテ居ル。近キ將來ニ於テ必スヤーツノ強大國トナルベク思ハルル。此ノ支那ニ對シテ、日本ハ果シテ如何ナル態度ヲ執ルベキカ。現在ノ所デハ支那ニ於テハ、日本ハ思フ存分ノ事ガ出來ル。支那ヲ強制シ、格段ナ利益ヤ特權ヲ收メル事モ自由テアル。意ノ儘ニ振舞テ支那ヲ強壓スルノハ、何デモナイ事デアル。併シナカラ私ハ斷言スル、斯レハ是レ、高價ニ購ヒ得ラルベキ一時的ノ利益ニ過キナイモノデアル事ヲ。

私ハ、日本ニ望ム、日本ハ、眞ニ偉大ナル國民デアルト云フ事ヲ、事實ノ上ニ現ハサン事ヲ。又日本ガ、段々發展シテ強大トナリ、其ノ自然ノ領土ヲ幸福ナラシメン事ヲ。而シテ私ハ、日本ガ支那ニ對シテ強者ノ權利ヲ振廻ハサス、兄弟トシテ、指導輔佐ノ役ヲ勤メル事ヲ、切望スルモノデアル。是ガ眞正ノ意味ニ於テ、日本ガ支那ノ將來ヲ支配スルモノテアル。日本ハ、嘗テ自分ノ習ヒ覺エタト同一ノ教訓ヲ有利ニ使用スル事ヲ支那ニ教ヘテヤルベキデアル。自國ノ勢力圈内ニ於テハ、強ク誠アリ、且ツ公明正大ニシテ、外國ニ對シテハ指導者擁護者トナル、斯クノ如クニシテ、日本ハ始メテ其未來ヲ最モ光榮アラシムル事ガ出來ルノデア。私ハ斯クノ如キ光輝アル將來ガ日出國ノ上ニ來リ臨マンコトヲ希望スルモノデアル。斯クシテ日本ハ眞

ニ○
亞○
細○
亞○
ノ○
盟○
主○
ト○
ナ○
リ○
得○
ル○
ノ○
デ○
ア○
ル○
。